

2015年10月2日

第281回 群馬大学アナログ集積回路研究会

第10回ひずみ測定講習会

全面協力 東京測器研究所

日時 2015年09月30日(水) 10:00~15:00

於 群馬大学工学部(桐生キャンパス)3号館509号室(E大教室)

[午前の部](講義)

講義A: 「ひずみ測定の概要」 10:00 ~ 11:00

① ひずみゲージの原理

担当: 開発部 SG開発室 落合様

② ひずみゲージ式変換器の原理

担当: 開発部 TRAP 開発室 武井様

講義B: 「ひずみ測定器の原理」 11:10~ 12:00

担当: 開発部 MI開発室 舘野様

[午後の部](実習)

ひずみゲージの取付けと測定の実習 13:00 ~15:10

実習: 「ひずみゲージの取付け方法」

担当: 開発部 SG開発室 落合様

実習: 「静ひずみの測定及び 動ひずみの測定」

担当: 開発部 MI開発室 舘野様

今年も 群馬大学工学部にて東京測器研究所さんの全面ご協力のもと、
ひずみ講習会が開催された。
多くの工学部学科の学生が中心となり講習を受けた。

ひずみ測定講習会は毎年夏に開催され 早いもので 今回で 10 年目になる。

東京測器研究所の創業者は群馬大学工学部の前身の桐生高専のご出身と
うかがっている。
また同社は地元の桐生市相生工業団地に主力工場をもっており、
群馬大学卒業生が何人も勤務している。

今年のひずみ測定講習会が第 10 回という区切りの回数であるが、
偶然にも来週の 10 月 10 日（土）には
群馬大学工学部 100 周年記念式典が行われる。

<http://www.st.gunma-u.ac.jp/kogakubu100/index.html>

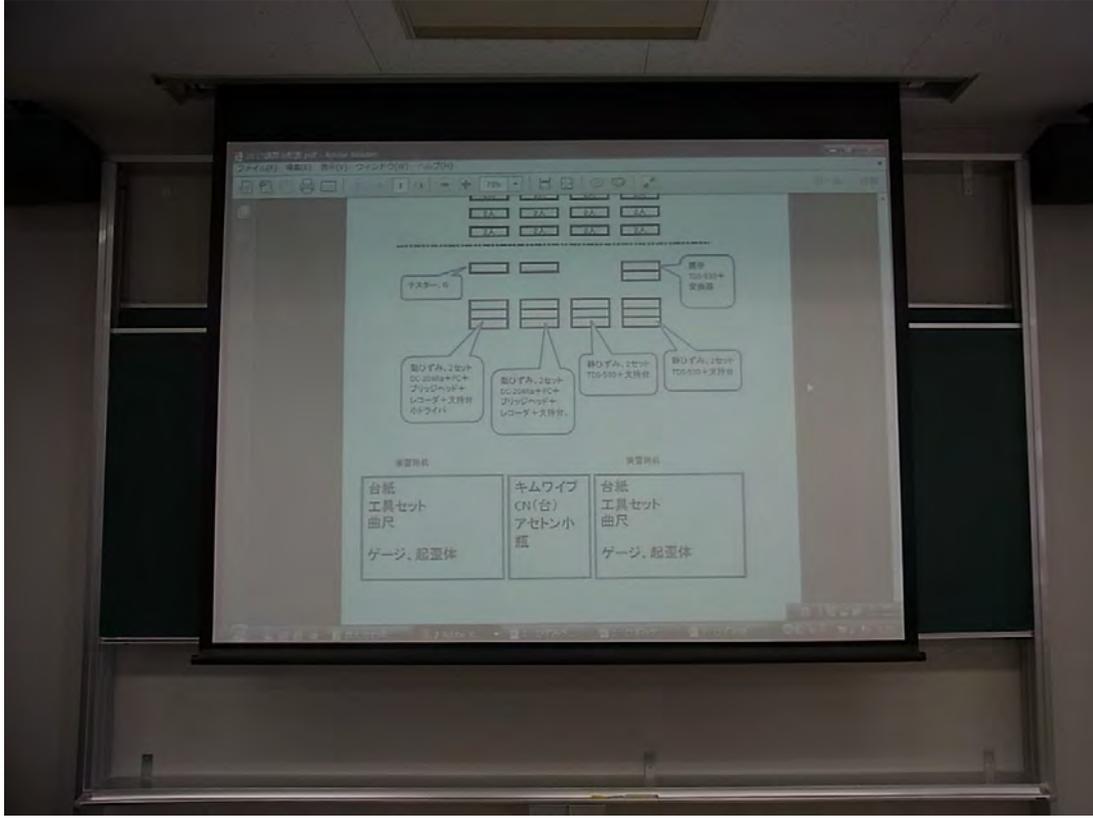
群馬大学工学部の近くに江戸時代から昭和の時代にかけての 11 棟の蔵群、
有鄰館(ゆうりんかん)があり、現在も展示・舞台・演劇等のイベントに
使われている。



有鄰館の名前は 「徳あれば孤ならず、必ず隣り有り」(論語)
(徳があれば孤立せず、理解し助力する人が必ず現れる)
に由来しているとのことである。

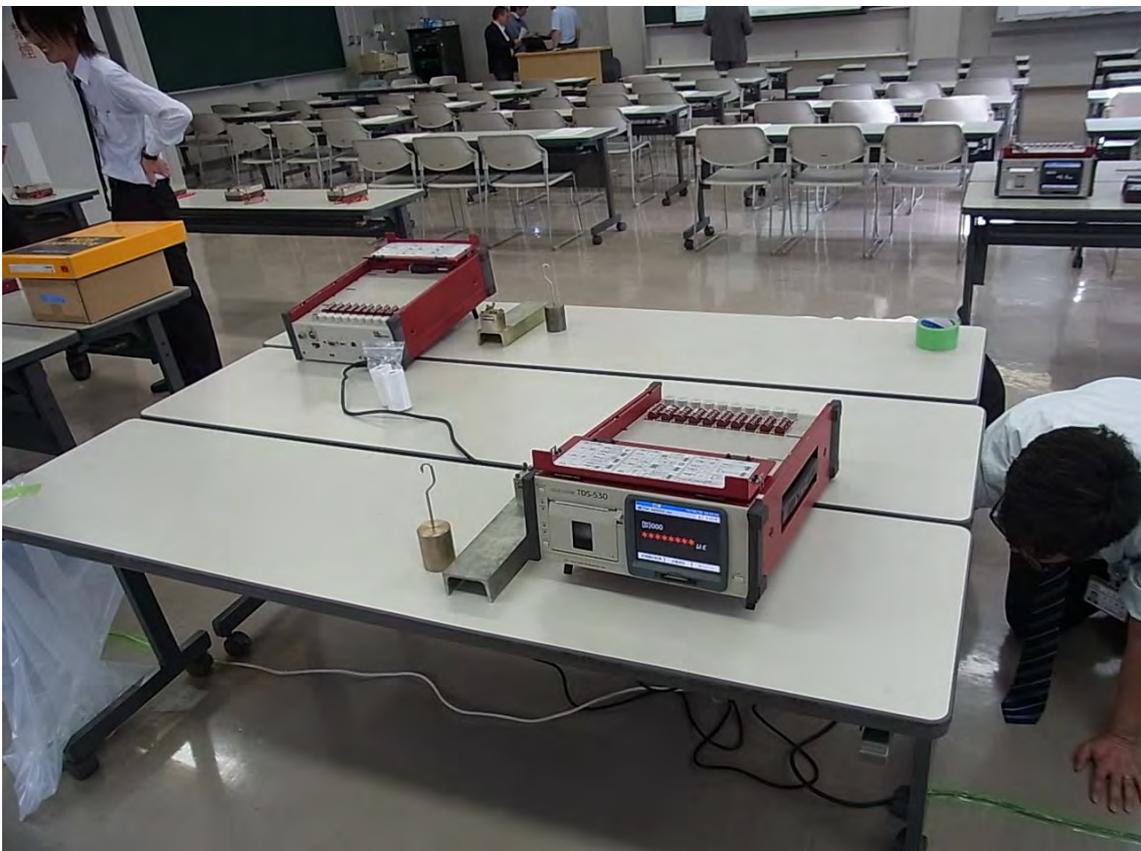
講習会での講師の方々や受講者の方々にこやかな表情を見ながら、
群馬大学工学部には長年にわたり「徳」があったのかもしれないと思った。

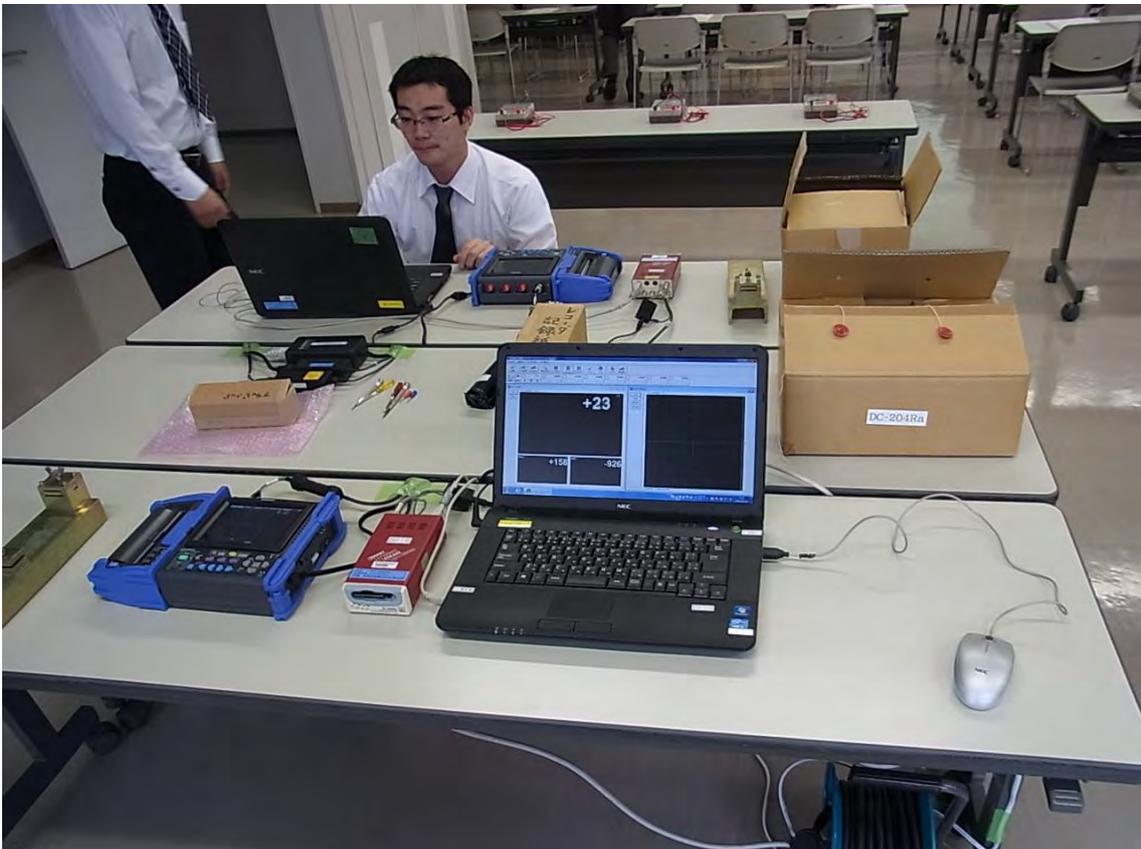
第10回ひずみ測定講習会の模様 (写真提供 東京測器研究所)















ひずみ測定講習会

[午前の部]

講義A: 「ひずみ測定の概要」 10:00~11:00

- ① ひずみゲージの原理
- ② ひずみゲージ式変換器の原理

----- (休憩 10分) -----

講義B: 「ひずみ測定器の原理」 11:10~12:00

----- (昼休憩 60分) -----

[午後の部]

ひずみゲージの取付けと測定の実習 13:00~15:10

実習: 「ひずみゲージの取付け方法」

実習: 「静ひずみの測定 及び 動ひずみの測定」

1
東京測器研究所





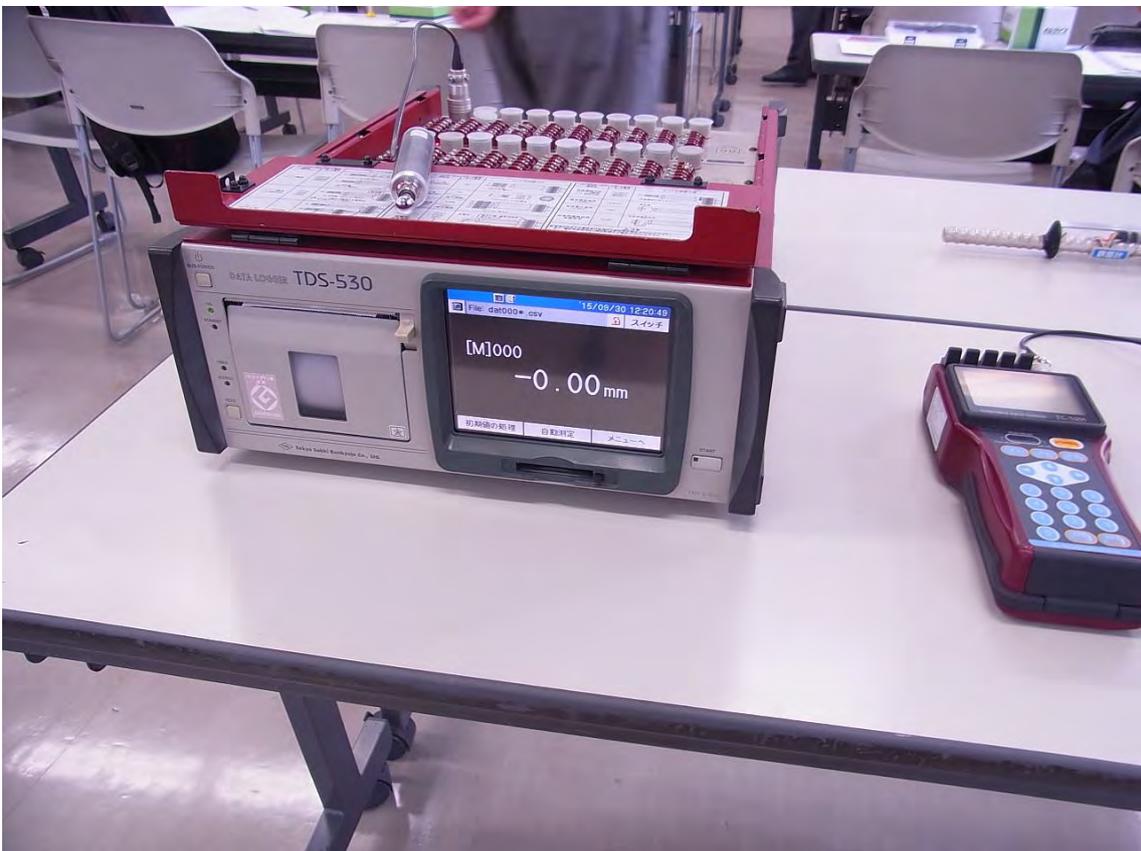
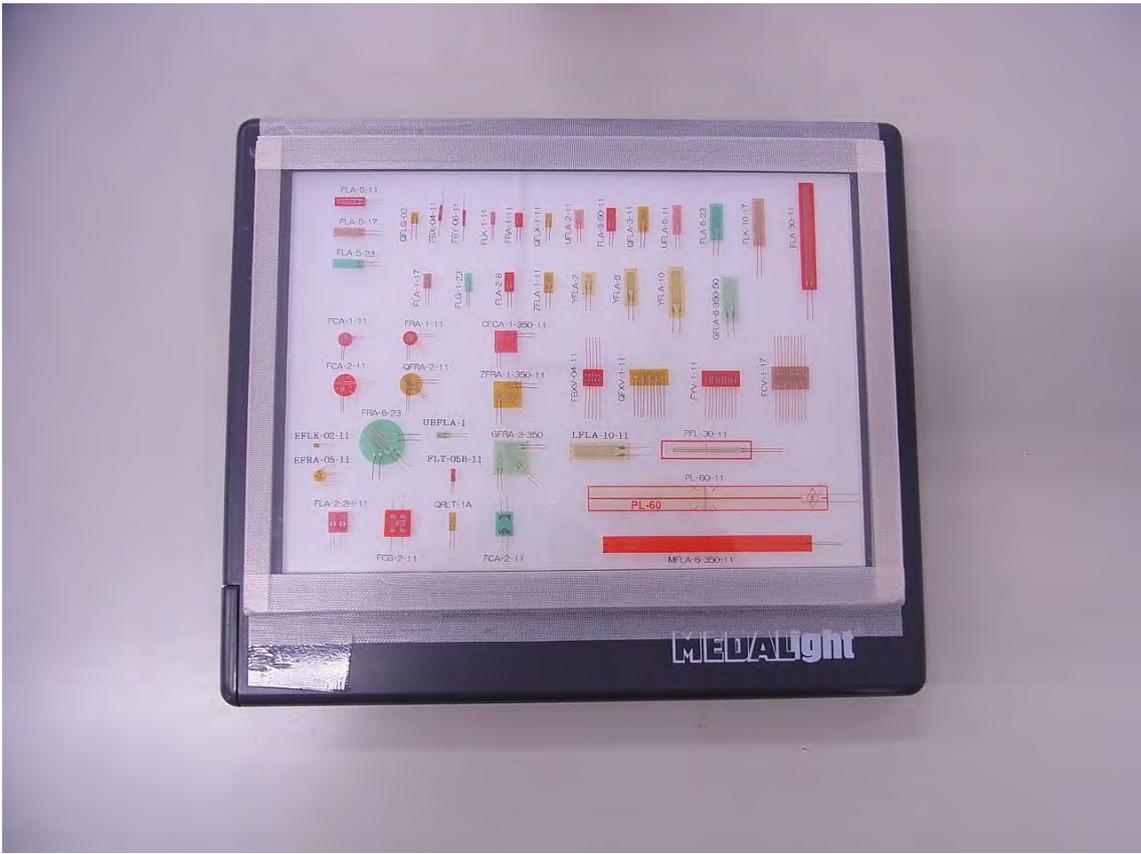




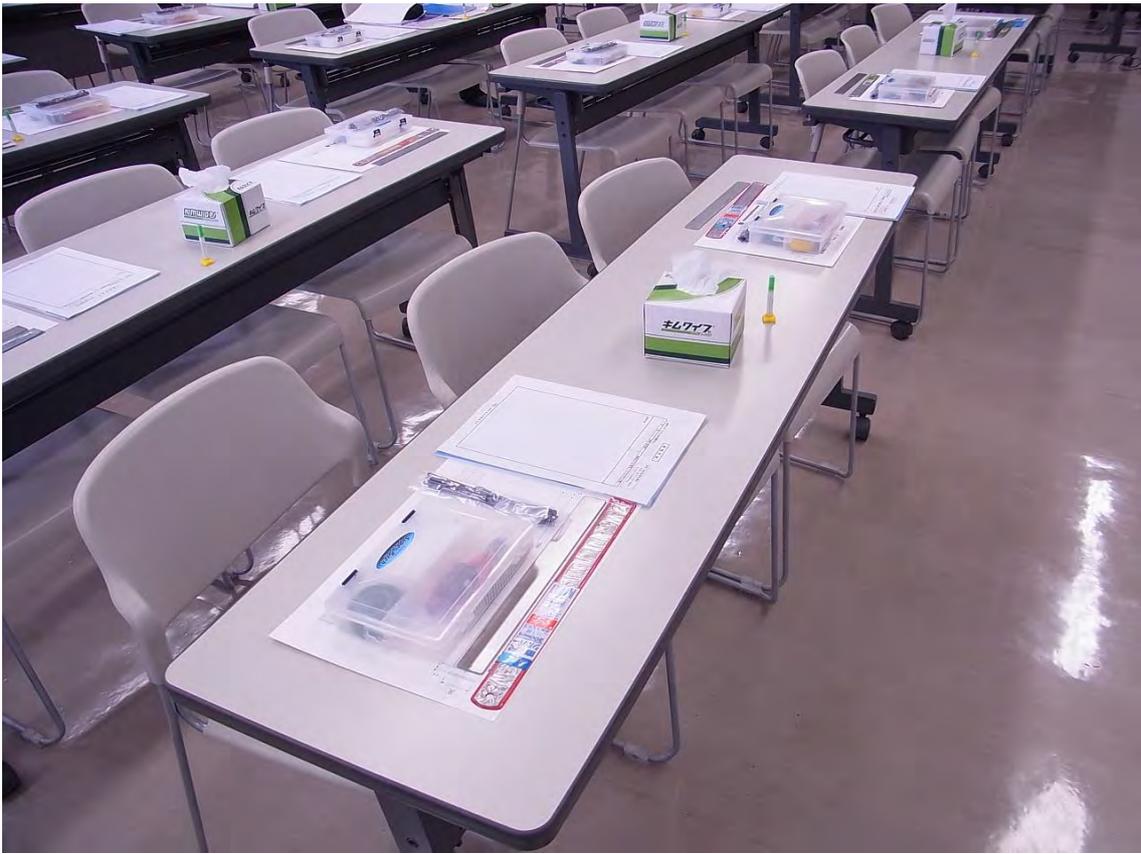
















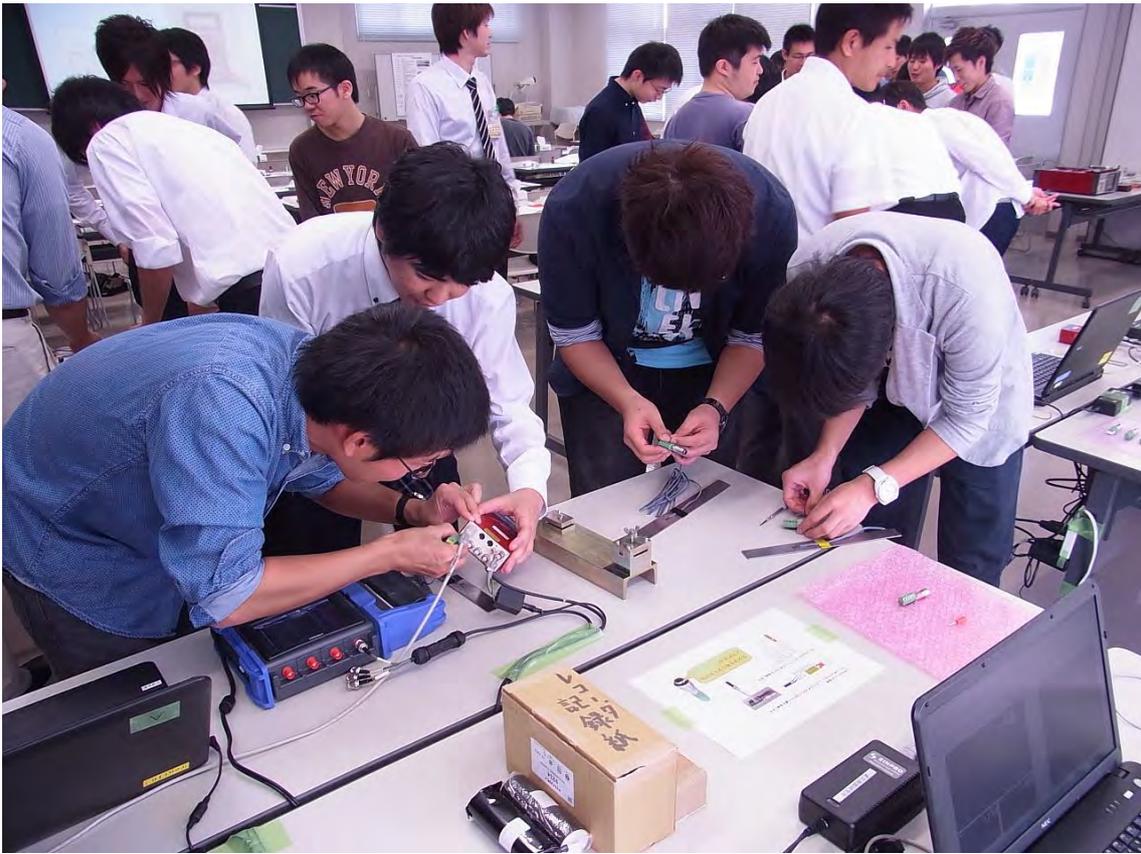




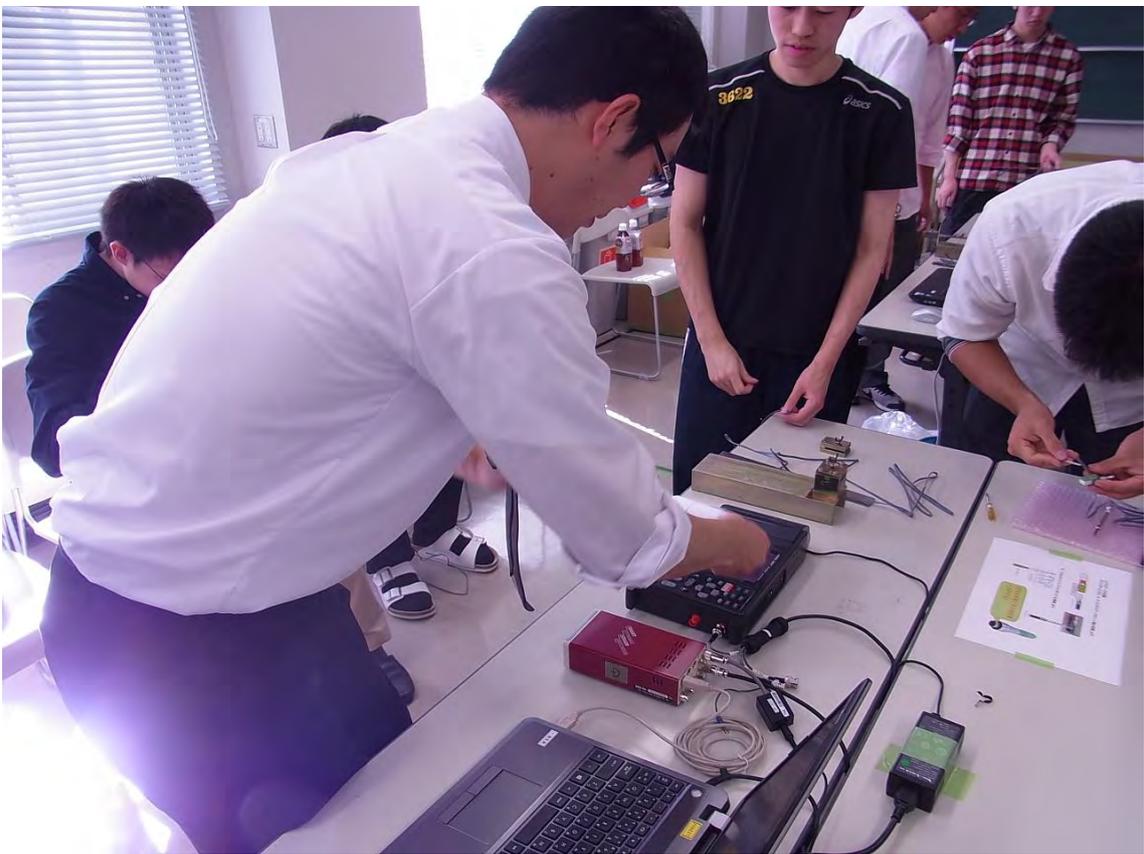




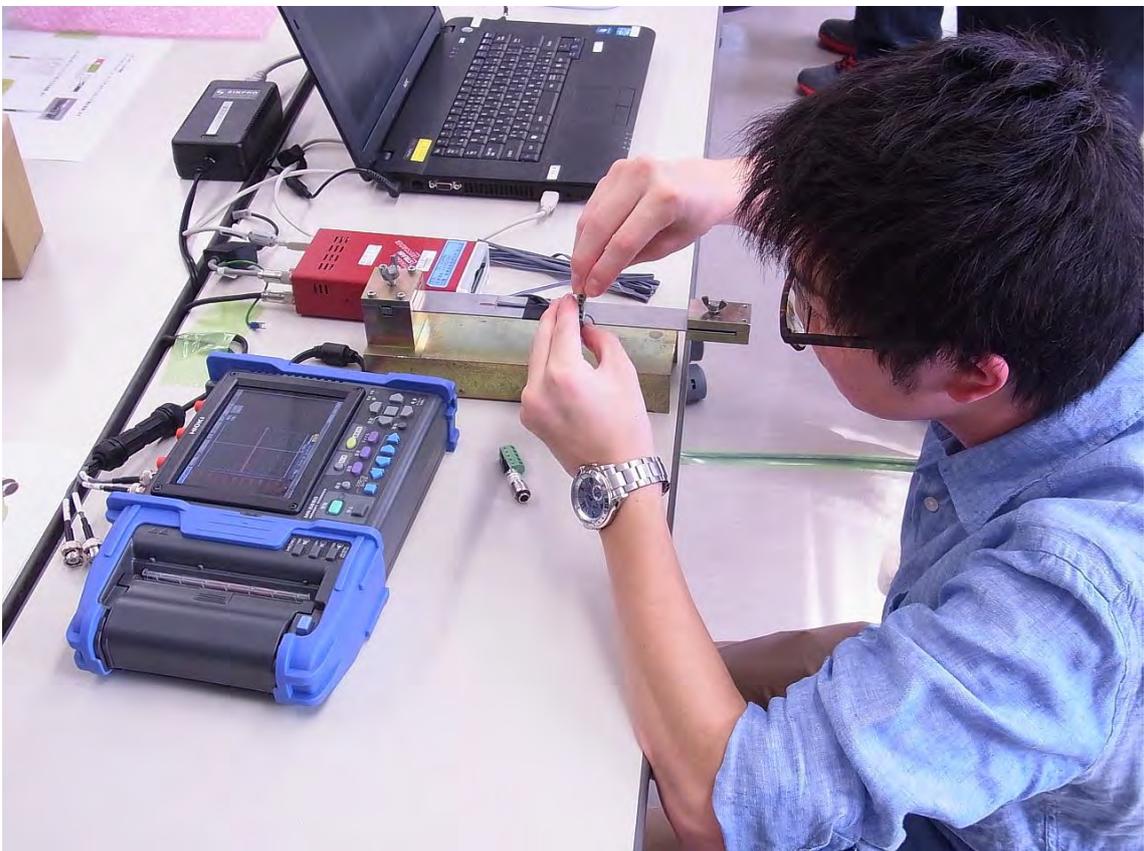














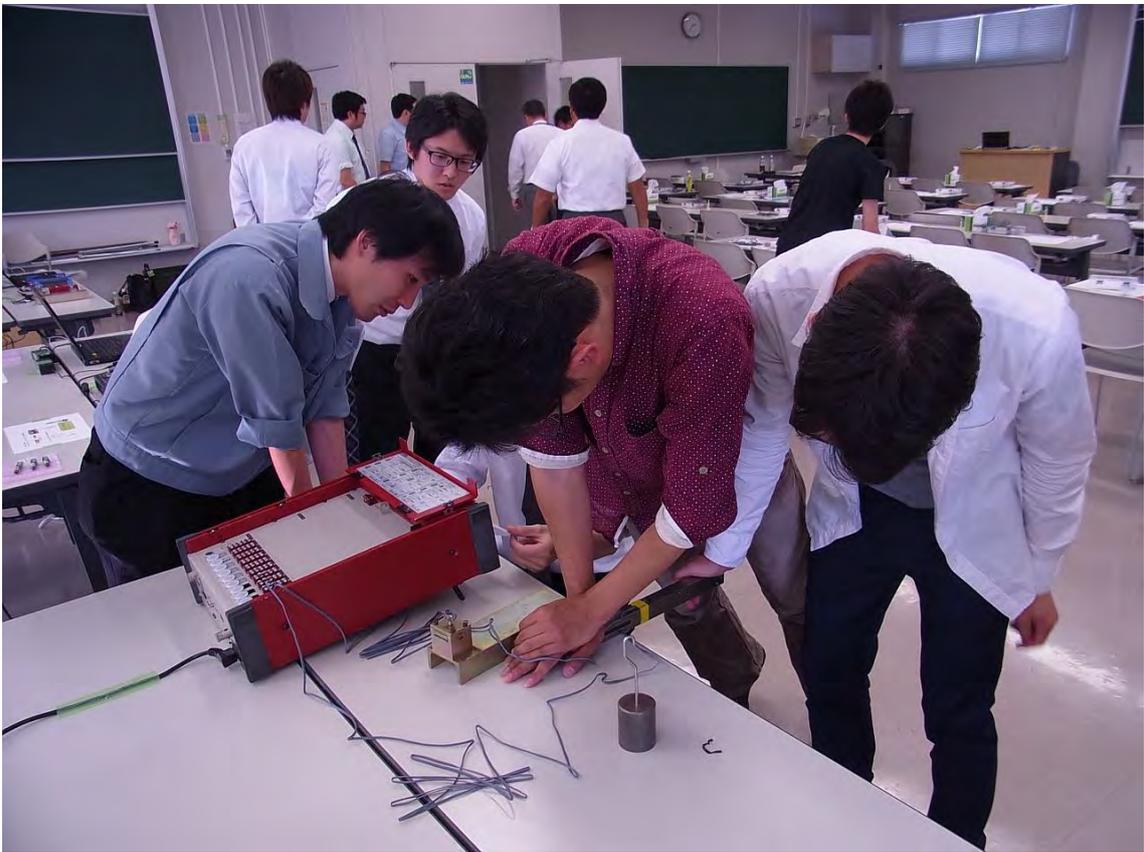
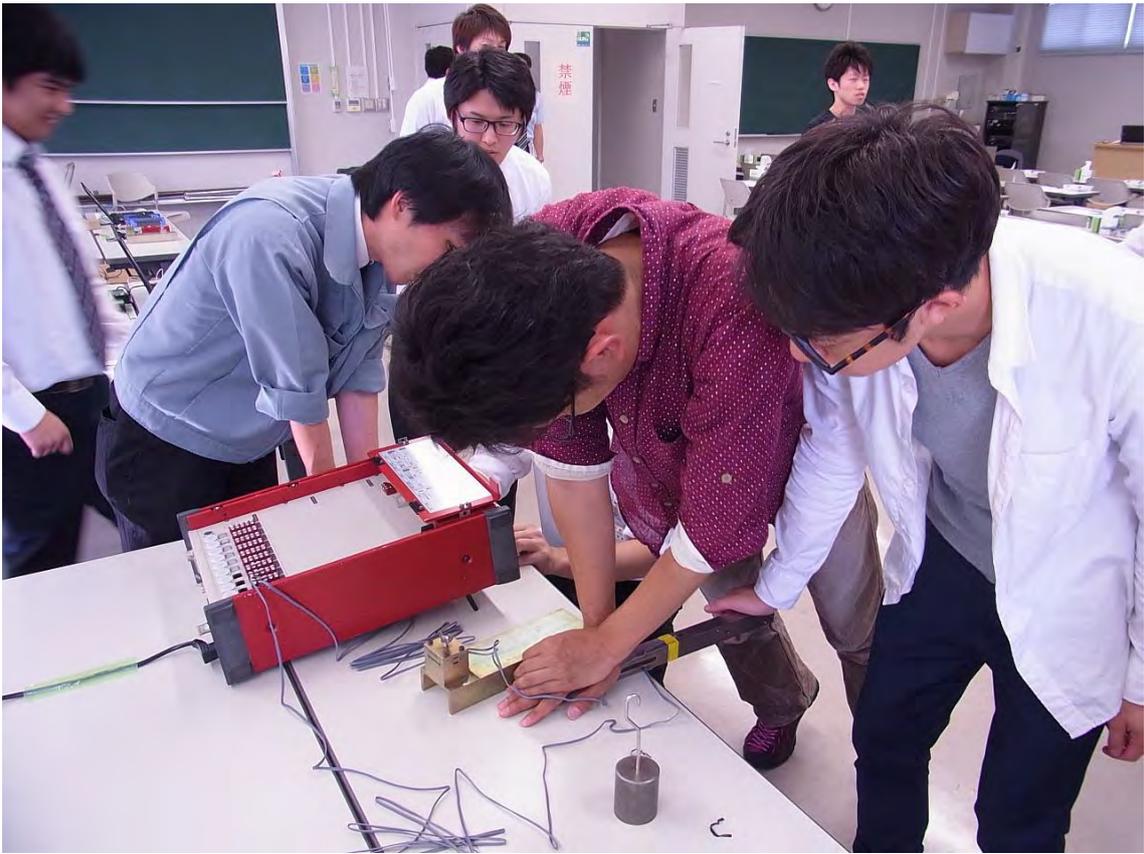


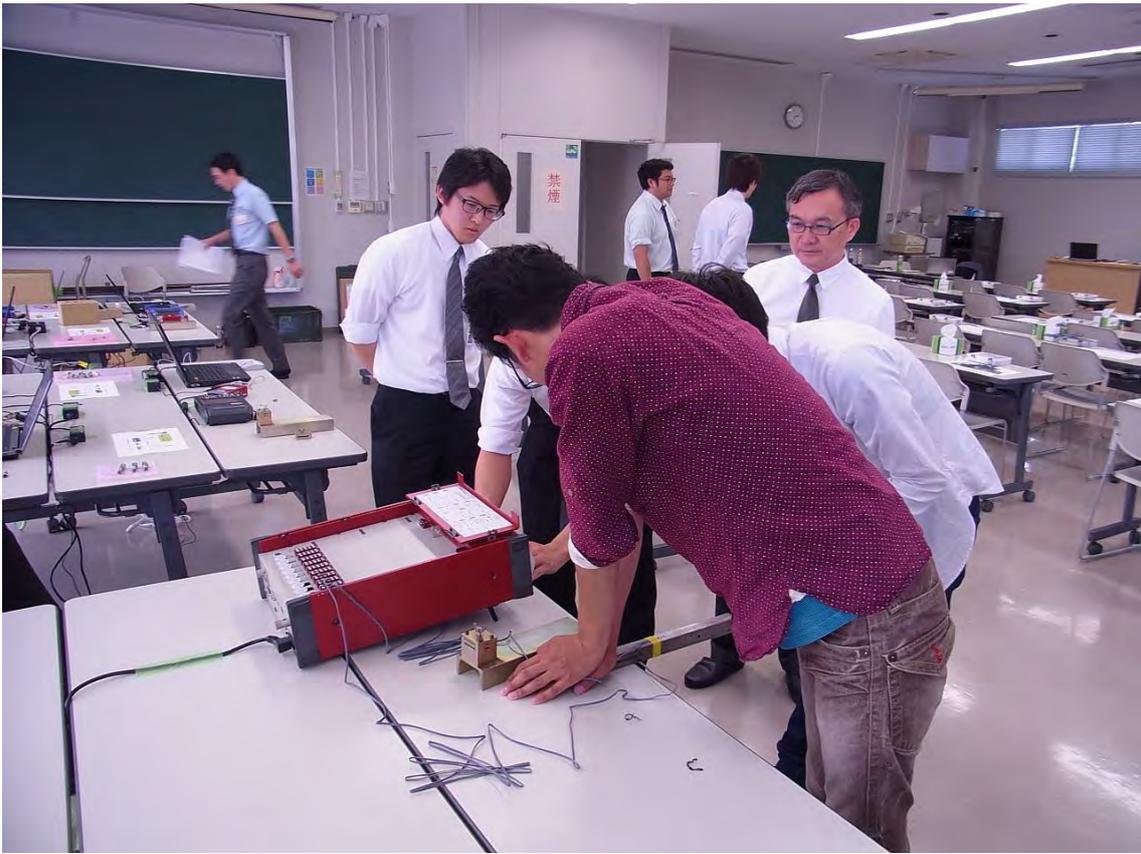














文責 群馬大学 小林春夫